

令和7年度 事務事業評価シート(令和6年度実績)

事務事業名	下妻公民館維持管理事業						教育部
総合計画の体系	目標	2. 教育、文化	基本	2. 生涯学習、文化、スポーツ	分野	1. 生涯学習、公民館	公民館
SDGs目標	4	質の高い教育をみんなに		11	住み続けられるまちづくりを		千代川公民館

1. 事業の概要(Plan)

目的	施設の適切な維持管理により、利用者に安心安全で快適な利用を提供する					
内容	施設の維持管理、補修等の業務					
種別	自治事務(任意)	主体	直営	対象・受益者	市民	

2. 事業の取組みと費用(Do)

活動指標	指標名		説明			年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
	利用者団体		公民館の利用団体数	目標	1,000	1,000	1,000	団体		
				実績	1,525	1,437				
成果指標	指標名		説明			年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
	利用者数		公民館の利用者数	目標	14,500	14,500	14,500	人		
				実績	17,638	17,028				
予算科目	区分	一般会計	款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	2 公民館費		
事業費(千円)	R5決算額		R6決算額		R7予算額		R8予定額		R9予定額	
総事業費	23,549		28,103		29,717		29,780		29,780	
事業経費	16,801		18,223		19,837		19,900		19,900	
特定財源	2,108		2,395		1,350		1,400		1,400	
従事常勤職員数	0.34		0.40		0.40		0.40		0.40	
従事非常勤職員数	1.20		2.00		2.00		2.00		2.00	
概算人件費	6,748		9,880		9,880		9,880		9,880	

3. 事業の評価、今後の方向性

(1) 事業についての評価(Check)

個別評価	必要性	今後の必要性	一定程度見込まれる	存続させるか検討中です。
		対象の適切性	適切	対象は施設利用者になるため適正である。
		主体の妥当性	市が推進すべき	公民館の構造・利用者を熟知している市職員が行うべきである。
	有効性	指標の実績	おおむね達成できた	予定通りの管理運営ができた。
	効率性	コストの削減	削減の余地なし	最小限の予算で運営している。
総合評価	費用対効果	効果あり		最小の経費で指標の目標を達成できた。
	手段の妥当性	見直しの余地あり		存続させるか検討中です。
	事業の方針	継続		庁舎周辺エリアビジョンの基本計画策定時において、下妻公民館のあり方検討する予定です。

(2) 事業の方向性(Action)

現状の課題	下妻公民館は、空調等の多くの設備を市民文化会館と共用しており、老朽化が著しいため、不具合の対応が課題となっている。特に、空調設備は不調が続いており、今後の継続的な使用は検討を要する状況となっている。
今後の取組み	老朽化が著しいため、適切な修繕工事が必要である。また、令和2年度から社会福祉協議会及びシルバー人材センターがそれぞれ事務室等で1階を使用しているため、館内の適切な維持管理と整備を実施するよう努める。

令和7年度 事務事業評価シート(令和6年度実績)

事務事業名	大宝公民館維持管理事業						教育部
総合計画の体系	目標	2. 教育、文化	基本	2. 生涯学習、文化、スポーツ	分野	1. 生涯学習、公民館	公民館
SDGs目標	4	質の高い教育をみんなに		11	住み続けられるまちづくりを		千代川公民館

1. 事業の概要(Plan)

目的	施設の適切な維持管理により、利用者に安心安全で快適な利用を提供する。					
内容	施設の適切な維持管理により、利用者に安心安全で快適な利用を提供する。					
種別	自治事務(任意)	主体	直営	対象・受益者	公民館利用者	

2. 事業の取組みと費用(Do)

活動指標	指標名		説明			年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
	利用者団体	公民館の利用団体数	目標		1,000	1,200	1,200	団体		
			実績		1,204	1,199				
成果指標	指標名		説明			年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
	利用者数	公民館の利用者数	目標		14,000	15,000	15,000	人		
			実績		15,003	14,851				
予算科目	区分	一般会計	款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	2 公民館費		
事業費(千円)	R5決算額		R6決算額		R7予算額		R8予定額		R9予定額	
総事業費	14,655		14,789		27,608		24,161		24,161	
事業経費	10,547		10,928		23,747		20,300		20,300	
特定財源	154		179		135		135		135	
従事常勤職員数	0.34		0.33		0.33		0.33		0.33	
従事非常勤職員数	0.40		0.35		0.35		0.35		0.35	
概算人件費	4,108		3,861		3,861		3,861		3,861	

3. 事業の評価、今後の方向性

(1) 事業についての評価(Check)

個別評価	必要性	今後の必要性	一定程度見込まれる	集会施設として利用度は高い。
		対象の適切性	適切	体育室は、近隣中学校の部活動で利用している。
		主体の妥当性	アウトソーシング済(一部)	管理の一部・設備の保守点検等は委託した。
	有効性	指標の実績	おおむね達成できた	最小限の予算で運営している。
	効率性	コストの削減	削減の余地なし	最小限の予算で運営している。
総合評価	費用対効果	効果あり		最小の経費で指標の目標に近づいた。
	手段の妥当性	見直しの余地あり		管理の一部・設備の保守点検等は委託した。
	事業の方針	継続		現状維持。

(2) 事業の方向性(Action)

現状の課題	公民館利用者が施設を快適に利用できるように、限られた予算の範囲内で計画的に不良箇所等を随時改善し、良好な環境を維持する。
今後の取組み	建設してから35年以上が経過し、建物や設備など老朽化が進んでいるため、計画的な修繕が必要である。また、令和7年度は、体育室照明をLED照明の改修工事を実施する。

令和7年度 事務事業評価シート(令和6年度実績)

事務事業名	千代川公民館維持管理事業						教育部
総合計画の体系	目標	2. 教育、文化	基本	2. 生涯学習、文化、スポーツ	分野	1. 生涯学習、公民館	公民館
SDGs目標	4	質の高い教育をみんなに		11	住み続けられるまちづくりを		千代川公民館

1. 事業の概要(Plan)

目的	施設の適切な維持管理により、利用者に安心安全で快適な利用を提供する					
内容	施設の適切な維持管理により、利用者に安心安全で快適な利用を提供する					
種別	自治事務(任意)	主体	直営	対象・受益者	公民館利用者	

2. 事業の取組みと費用(Do)

活動指標	指標名		説明			年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
	利用者団体数	公民館の利用団体数			目標	1,500	1,500	1,500	団体	
					実績	1,380	1,208			
成果指標	指標名		説明			年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
	利用者数	公民館の利用者数			目標	35,000	35,000	35,000	人	
					実績	29,261	28,945			
予算科目	区分	一般会計	款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	2 公民館費		
事業費(千円)	R5決算額		R6決算額		R7予算額		R8予定額		R9予定額	
総事業費	79,268		88,697		34,919		43,350		43,350	
事業経費	67,291		81,396		27,519		35,950		35,950	
特定財源	609		677		600		600		600	
従事常勤職員数	1.03		0.50		0.50		0.50		0.50	
従事非常勤職員数	1.07		0.97		1.00		1.00		1.00	
概算人件費	11,977		7,301		7,400		7,400		7,400	

3. 事業の評価、今後の方向性

(1) 事業についての評価(Check)

個別評価	必要性	今後の必要性	一定程度見込まれる	集会施設として利用度は高い。
		対象の適切性	適切	市外から団体利用も多い。
		主体の妥当性	アウトソーシング済(一部)	管理の一部・設備の保守点検等は委託した。
	有効性	指標の実績	おおむね達成できた	予定通りの管理運営ができた。
	効率性	コストの削減	削減の余地なし	最小限の予算で運営している。
総合評価	費用対効果	効果あり		最小の経費で指標の目標を達成できた
	手段の妥当性	見直しの余地あり		管理の一部・設備の保守点検等は委託した。
	事業の方針	継続		現状維持

(2) 事業の方向性(Action)

現状の課題	利用者が施設を快適に利用できるように、限られた予算の範囲内で不良箇所等を随時修繕し、良好な環境を維持する。
今後の取組み	竣工後約39年が経過し、建物や設備など老朽化が著しい、今後の対応を関係部署との協議、連携を図りながら計画的に改修を実施する。

令和7年度 事務事業評価シート(令和6年度実績)

事務事業名	市民センター管理事業						教育部
総合計画の体系	目標	2. 教育、文化	基本	2. 生涯学習、文化、スポーツ	分野	1. 生涯学習、公民館	公民館
SDGs目標	4	質の高い教育をみんなに		11	住み続けられるまちづくりを		千代川公民館

1. 事業の概要(Plan)

目的	施設の適切な維持管理により、利用者に安心安全で快適な利用を提供する				
内容	施設の維持管理運営、補修等の業務				
種別	自治事務(任意)	主体	直営	対象・受益者	市民

2. 事業の取組みと費用(Do)

活動指標	指標名		説明			年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
	利用者団体		市民センターの利用団体数			目標	1,250	1,200	1,300	団体
						実績	1,206	1,398		
成果指標	指標名		説明			年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
	利用者数		市民センターの利用者数			目標	18,000	17,000	18,500	人
						実績	17,805	19,346		
予算科目	区分	一般会計	款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	2 公民館費		
事業費(千円)	R5決算額		R6決算額		R7予算額		R8予定額		R9予定額	
総事業費	15,618		15,438		14,621		15,244		15,244	
事業経費	9,834		11,494		10,677		11,300		11,300	
特定財源	18		179		20		20		20	
従事常勤職員数	0.48		0.32		0.32		0.32		0.32	
従事非常勤職員数	0.56		0.40		0.40		0.40		0.40	
概算人件費	5,784		3,944		3,944		3,944		3,944	

3. 事業の評価、今後の方向性

(1) 事業についての評価(Check)

個別評価	必要性	今後の必要性	一定程度見込まれる	集会施設として利用度は高い。
		対象の適切性	適切	対象は施設利用者になるため適正である。
		主体の妥当性	アウトソーシング済(一部)	管理の一部を市民センター運営委員会に委託した。
	有効性	指標の実績	おおむね達成できた	予定通りの管理運営ができた。
	効率性	コストの削減	削減の余地なし	最小限の予算で運営している。
総合評価	費用対効果	効果あり	最小の経費で指標の目標を達成できた。	
	手段の妥当性	妥当	管理の一部を市民センター運営委員会に委託した。	
	事業の方針	継続	現状維持で行うべきである。	

(2) 事業の方向性(Action)

現状の課題	市民センター利用者が施設を快適に利用できるように、限られた予算の範囲内で不良箇所等を随時修繕し、良好な環境を維持する。
今後の取組み	各市民センターとともに、建物、敷地内ともに老朽化が進んでいるため、計画的な修繕工事が必要である。今後の対応を関係部署と協議し、連携を図りながら計画的に改修を実施する。

令和7年度 事務事業評価シート(令和6年度実績)

事務事業名	公民館教室事業						教育部
総合計画の体系	目標	2. 教育、文化	基本	2. 生涯学習、文化、スポーツ	分野	1. 生涯学習、公民館	公民館
SDGs目標	4	質の高い教育をみんなに		11	住み続けられるまちづくりを		千代川公民館

1. 事業の概要(Plan)

目的	市民のニーズに対応した多彩な講座を開催することで、市民同士が交流を深めるよう活動を支援する。				
内容	心豊かに生きるためにのきっかけづくりとして市民が幅広く参加できるよう各種講座を開催する。				
種別	自治事務(任意)	主体	直営	対象・受益者	市民

2. 事業の取組みと費用(Do)

活動指標	指標名		説明			年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
	教室開設数	公民館及び地区館で開設した教室数	目標		37	37	43	教室		
			実績		37	36				
成果指標	指標名		説明			年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
	教室受講者数	公民館及び地区館の教室受講者数	目標		600	600	700	人		
			実績		569	588				
予算科目	区分	一般会計	款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	2 公民館費		
事業費(千円)	R5決算額		R6決算額		R7予算額		R8予定額		R9予定額	
総事業費	15,022		14,877		15,752		15,904		15,904	
事業経費	2,914		2,767		3,642		3,794		3,794	
特定財源	285		294		300		300		300	
従事常勤職員数	0.39		0.35		0.35		0.35		0.35	
従事非常勤職員数	2.70		2.80		2.80		2.80		2.80	
概算人件費	12,108		12,110		12,110		12,110		12,110	

3. 事業の評価、今後の方向性

(1) 事業についての評価(Check)

個別評価	必要性	今後の必要性	一定程度見込まれる	生涯学習の場を提供する講座として、必要性は高い。
		対象の適切性	適切	対象あ受講者になるため適切である。
		主体の妥当性	市が推進すべき	市が推進すべきである。
	有効性	指標の実績	おおむね達成できた	コロナ過後、受講者数は増加傾向にある。
	効率性	コストの削減	削減の余地なし	低コストで教室を実施している。
総合評価	費用対効果	効果あり		最小の経費で目標を達成している。
	手段の妥当性	妥当		市職員が行うのが妥当である。
	事業の方針	継続		現状維持

(2) 事業の方向性(Action)

現状の課題	教室によっては、前年度からの継続者も多く、新規受講者が増えにくい(特に男性)傾向にある。男女問わず、幅広い年齢層の市民が参加できるよう、今後も企画立案していく必要がある。
今後の取組み	新規教室の開講や教室内容の一層の充実を図るとともに、老若男女問わず新規受講者の増加を目指す。



令和7年度 事務事業評価シート(令和6年度実績)

事務事業名		公民館まつり事業					教育部
総合計画の体系	目標	2. 教育、文化	基本	2. 生涯学習、文化、スポーツ	分野	1. 生涯学習、公民館	公民館
	SDGs目標	4	質の高い教育をみんなに	11	住み続けられるまちづくりを		千代川公民館

1. 事業の概要(Plan)

目的	公民館や地区館の教室及びクラブの受講生が、活動学習の成果発表を通じて、受講生や地域住民との交流を深める。				
内容	各種教室の発表の場として、ステージ発表・作品発表・体験教室を行う。				
種別	自治事務(任意)	主体	直営	対象・受益者	市民

2. 事業の取組みと費用(Do)

活動指標	指標名		説明			年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
	広報活動		ポスター・お知らせ版・市HP等により広報した回数	目標	2	4	6	回		
				実績	6	6				
成果指標	指標名		説明			年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
	参加人数		発表・展示等の参加人数	目標	300	600	800	人		
				実績	708	1,068				
予算科目	区分	一般会計	款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	2 公民館費		
事業費(千円)	R5決算額		R6決算額		R7予算額		R8予定額		R9予定額	
総事業費	5,484		8,765		8,980		8,980		8,980	
事業経費	128		210		425		425		425	
特定財源	0		0		0		0		0	
従事常勤職員数	0.13		0.50		0.50		0.50		0.50	
従事非常勤職員数	1.30		1.35		1.35		1.35		1.35	
概算人件費	5,356		8,555		8,555		8,555		8,555	

3. 事業の評価、今後の方向性

(1) 事業についての評価(Check)

個別評価	必要性	今後の必要性	一定程度見込まれる	市民のニーズに適した事業である。
		対象の適切性	適切	対象者は事業に沿ったものである。
		主体の妥当性	市が推進すべき	教室受講生との信頼関係が必要なため、市が主体となるべきである。
	有効性	指標の実績	達成できた	想定していた目標よりも良い環境で実施することができた。
	効率性	コストの削減	削減の余地なし	最低の経費で行っているため、削減の余地はない。
総合評価	費用対効果	効果あり	最小の経費で指標の目標を達成できた。	
	手段の妥当性	見直しの余地あり	開催方法や内容について、検討の余地あり。	
	事業の方針	継続	実施規模や方法について検討する余地あり。	

(2) 事業の方向性(Action)

現状の課題	公民館まつりの参加者の高齢化に伴い、パネル設置の準備片付け作業が困難となったため、業者に委託した。今後も同様に委託すべきと思われる。また、前年度に比べ、参加団体も増えたため、発表のスケジュール調整や展示場所の配置など、改めて検討が必要である。
今後の取組み	公民館まつり参加者や来場者の交流を深め、より良い学習の場となる環境を醸成するため、開催内容や運営の方法等について、引き続き検討が必要と思われる。

令和7年度 事務事業評価シート(令和6年度実績)

令和7年度 事務事業評価シート(令和6年度実績)										教育部
事務事業名		スマホ講座事業								公民館
総合計画の体系		目標	2. 教育、文化		基本	2. 生涯学習、文化、スポーツ		分野	1. 生涯学習、公民館	千代川公民館
SDGs目標		4	質の高い教育をみんなに			11	住み続けられるまちづくりを			

1. 事業の概要(Plan)

目的	スマホ操作の講義を行うことにより、デジタル活用に関する不安を低減し、デジタルディバイドの解消に努める。				
内容	受講者の利便性向上を目指し、各種スマホ操作についての講座を開催する。				
種別	自治事務(任意)	主体	外部委託	対象・受益者	市民

2. 事業の取組みと費用(Do)

活動指標	指標名		説明			年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
	開催講座数	スマホ講座の開催講座数	目標	－	2	3	講座			
			実績	－	2					
成果指標	指標名		説明			年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
	受講者数	スマホ講座への受講者数	目標	－	20	25	人			
			実績	－	22					
予算科目	区分	一般会計	款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	2 公民館費		
事業費(千円)	R5決算額		R6決算額		R7予算額		R8予定額		R9予定額	
総事業費	0		3,608		3,608		3,608		3,608	
事業経費	0		0		0		0		0	
特定財源	0		0		0		0		0	
従事常勤職員数	0.00		0.44		0.44		0.44		0.44	
従事非常勤職員数	0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	
概算人件費	0		3,608		3,608		3,608		3,608	

3. 事業の評価、今後の方向性

(1)事業についての評価(Check)

個別評価	必要性	今後の必要性	一定程度見込まれる	募集定員以上の応募がある。
		対象の適切性	適切	対象は受講者になるため適正である。
		主体の妥当性	アウトソーシング済(一部)	講座では専門知識を必要とするため。
	有効性	指標の実績	達成できた	想定以上の受講申し込みがあった。
	効率性	コストの削減	削減の余地なし	最小限の予算で運営している。
総合評価	費用対効果	効果あり	最小の経費で指標の目標を達成できた。	
	手段の妥当性	妥当	専門知識を有する講師の派遣は妥当である。	
	事業の方針	継続	現状維持	

(2)事業の方向性(Action)

現状の課題	社会全体のデジタル化が進められる中で、受講生一人ひとりのデジタル技術への習熟度が異なる場合に、個人ごとに講義内容の難易度を変更することができないことが課題である。
今後の取組み	講座ごとに講座内容、難易度の細分化を行い、より幅広い年齢層の受講生の増加を目指し、より一層のデジタルディバイドの解消に繋げる。